

淡路（三原川等）地域総合治水推進協議会 委員 ご意見・回答

ご 意 見	回 答
<p>資料Ⅰ 河川対策アクションプログラムの策定 意見要望等、「平成20年2月三原川水系河川整備計画」において 倭文川河口から2.6キロメートル河川改修、右岸は、ほぼ出来て いるが、左岸約260メートル未舗装で（※1）、また右岸も同様 江尻池より水道事業団浄水場まで土堤防で（※2）、大雨時いつ 決壊の恐れがあり危惧される状況で、河川整備をお願いしたい。 上記河川の整備計画がまだ生きているのか？ 大日川の河川整備地元説明会等、本格的に進めて欲しい。</p> <p>&lt;事務局注釈&gt; （※1 左岸約260メートル⇒右岸約260メートル） （※2 右岸も・・・土堤防⇒左岸も・・・土堤防）</p>	<p>三原川水系では平成16年台風23号による災害を受け、平成22年3月に河川 整備計画を策定した。この計画の中で、計画的に改修を進める区間を定め、 河川改修を進めている。 河川改修は、河川の流下能力が低いところについて優先順位を設けて進め ている。</p> <p>倭文川では平成30年に松島橋の架替えを完了しており、一定の改修を終え ている。しかし、松島井堰（※1）より上流は平成16年台風23号相当の流下 能力が部分的に不足している区間があり、改修が必要な状況にある。河川整 備計画では、三原川合流点から長田川合流点までの2.6kmの区間で計画的に 整備を進めることとしている。</p> <p>未改修区間が残る大日川においては、新川の合流点より上流の松帆志知川 地区の改修に令和3年度から着手すべく公共事業審査会（令和2年12月）に諮 り、着手は問題ないとの判断を得た。 このため、令和2年度における国の防災安全交付金にかかる補正予算を早 期に要望し、同地区の河川改修にかかる詳細設計に着手したところであり、 令和3年度に時期を見て地元説明を行いたい。 なお、この松帆志知川地区の改修には10年以上の歳月を要することを見込 んでいる。</p> <p>今後とも三原川水系の各河川における流下能力について勘案しながら、河 川改修に努めて参りたい。</p> <p>（※1：松島井堰：松島橋よりすぐ上流側にある）</p>